

日興エドモン・ドゥ・ ロスチャイルド・ ラグジュアリーファンド

追加型投信／海外／株式

日経新聞掲載名：ラグジュアリ

2022年6月28日から2023年6月26日まで

第 **10** 期 決算日：2023年6月26日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、欧州のラグジュアリー株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

基準価額(期末)	19,589円
純資産総額(期末)	9,537百万円
騰落率(当期)	+33.4%
分配金合計(当期)	200円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年6月28日から2023年6月26日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	14,829円
期末	19,589円 (既払分配金200円(税引前))
騰落率	+33.4% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2022年6月28日から2023年6月26日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として欧州のラグジュアリー株式^{*}に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

※ラグジュアリー株式とは、高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式をいいます。

上昇要因

- 中国を中心とした世界的な需要拡大を背景にラグジュアリー銘柄が上昇したこと
- 米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で上昇したこと

1万口当たりの費用明細 (2022年6月28日から2023年6月26日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	207円	1.196%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は17,347円です。
(投信会社)	(51)	(0.296)	投信会社: ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(150)	(0.867)	販売会社: 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.033)	受託会社: ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税: 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.007	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査費用: 監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他: 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	209	1.202	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

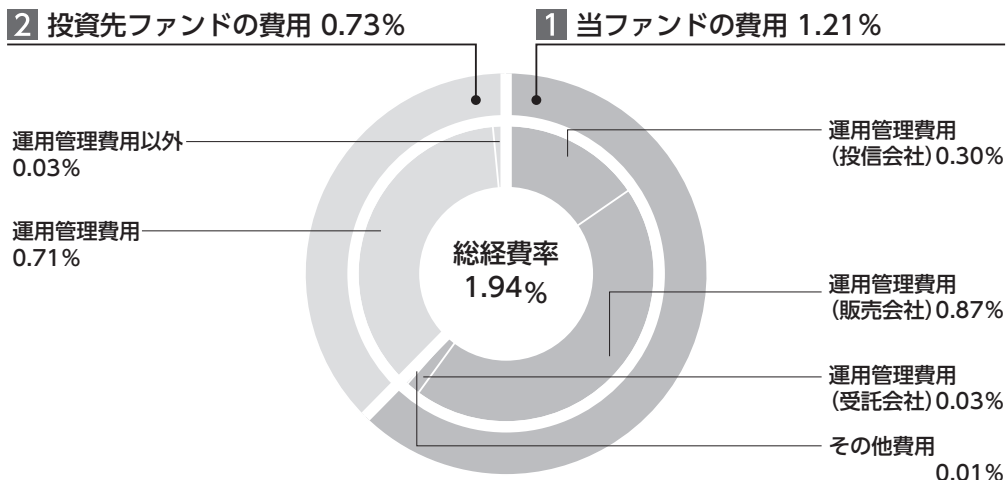
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



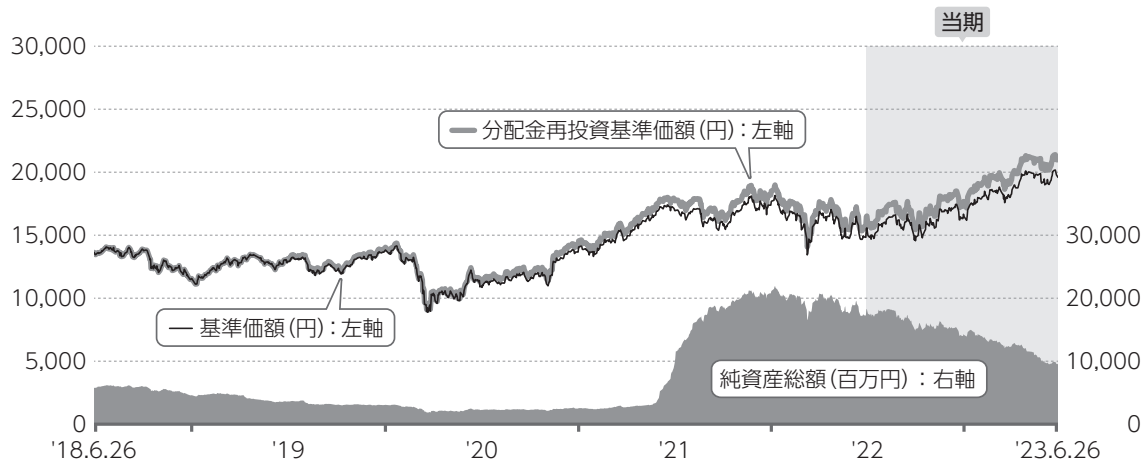
総経費率 (1 + 2)	1.94%
1 当ファンドの費用の比率	1.21%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.71%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

- ※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- ※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、投資先ファンドのデータをもとに委託会社が計算した経費率です。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- ※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.94%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2018年6月26日から2023年6月26日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2018年6月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

		2018.6.26 決算日	2019.6.26 決算日	2020.6.26 決算日	2021.6.28 決算日	2022.6.27 決算日	2023.6.26 決算日
基準価額	(円)	13,638	12,807	10,896	17,148	14,829	19,589
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	200	200	200	200	200
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	-4.6	-13.4	59.2	-12.4	33.4
純資産総額	(百万円)	5,757	3,556	2,231	8,910	17,244	9,537

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2022年6月28日から2023年6月26日まで)

期間における欧州株式市場、およびラグジュアリー株式は上昇しました。為替市場では、ユーロは対円で上昇しました。

欧州株式市場

期初は、米国や中国の景気や企業業績に対する見方が改善し、株式市場は上昇しました。その後、ECB(欧州中央銀行)の利上げやエネルギー危機に対する警戒感が高まった一方で、中国の株式市場の上昇や暖冬予報に伴うエネルギー危機への懸念が緩和するなど、年末にかけて株式市場は一進一退の推移となりました。

年明け後は、中国での渡航制限の緩和や米国のインフレ減速がサポート要因となり、株式市場は堅調に推移しました。その後、3月上旬に米国での銀行破綻に加えて欧州での大手金融機関の経営不安の報道により、株式市場は下落に転じました。ただし、3月下旬に、経営不安が強まったスイス金融大手を同国の金融最大手が買収することで合意に至ったことなどが好感され、株式市場は反発しました。期末にかけては、ECBやBOE(イングランド銀行)がいずれも利上げを実施するなど金融引き締め観測が根強い結果となったことに加えて、中国での景気回復ペースが鈍化するとの見通しが浮上し嫌気されたことから、株式市場の上昇幅は縮小し

ました。

ラグジュアリー株式も、中国の経済回復期待や世界的なラグジュアリー消費の需要拡大を背景に、上昇しました。

為替市場

期末のユーロ・円は、期初と比較してユーロ高・円安となりました。ECBが利上げを継続するとの見方から、日欧の金融政策の方向性の違いが意識され、期初と比較してユーロ高・円安となりました。

ポートフォリオについて (2022年6月28日から2023年6月26日まで)

当ファンド

「ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」および「マネー・オープン・マザーファンド」を主要資産対象とし、「ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」の高位組入れを維持しました。

ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド

高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式を中心に組入れを行いました。

個別銘柄

中国のゼロコロナ政策解除による経済活動活発化への期待から、ラグジュアリー消費の需要増加が見込まれ、組み入れているラグジュアリー銘柄の大半が上昇しました。

個別銘柄では、高級ファッション・メーカーのブルネロ・クチネリ、高級鞆ブランドのエルメス・インターナショナル、高級スポーツカーメーカーのフェラーリ、高級アウトドアウェアメーカーのモンクレールの保有が大きくプラス寄与しました。一方、高級時計を製造するウォッチ・オブ・スイスグループは、CFOが突然退任したことや、

マージンに関してやや弱気な見通しが示されたことが嫌気され、株価が大幅に下落し、マイナス寄与しました。

マネー・オープン・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2022年6月28日から2023年6月26日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2022年6月28日から2023年6月26日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第10期
当期分配金 (対基準価額比率)	200 (1.01%)
当期の収益	200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,588

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド」および「マネー・オープン・マザーファンド」を主要資産対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行う方針です。

ヨーロッパン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド

高級な商品やサービスを提供する企業、または世界的に強固なブランドイメージを有する企業の株式を中心に投資します。ポートフォリオで保有する企業は、今後も魅力的な業績成長を維持することが期待できます。

イノベーションや品質、販売ネットワークの選別的な拡大などが業績の拡大を支えることに加え、伝統や強いブランドを背景に価格決定力を持っており、世界各地での消費者の購買力の高まりから、安定した収益成長が期待できる銘柄群との考え方に変わりはありません。強固なバランスシートを持ち、株主還元積極的に企業を引き続き選好します。

マネー・オープン・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短

期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

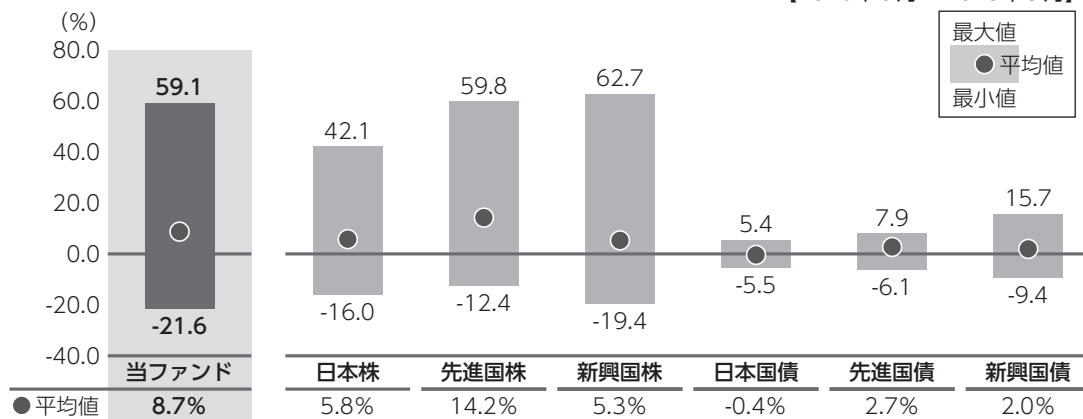
該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	2013年6月27日から2028年6月26日まで
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、欧州のラグジュアリー株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ヨーロピアン・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド 欧州のラグジュアリー株式 マネー・オープン・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■主として、欧州のラグジュアリー株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ■運用は、ラグジュアリー株式への投資に強みを持つエドモン・ドゥ・ロスチャイルド・アセット・マネジメント(フランス)が行います。 ■実質組入外貨建て資産に対しては、原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ■外貨建資産への直接投資は行いません。
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ■年1回(原則として毎年6月26日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

【2018年6月～2023年5月】



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI (国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

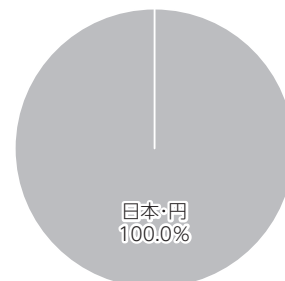
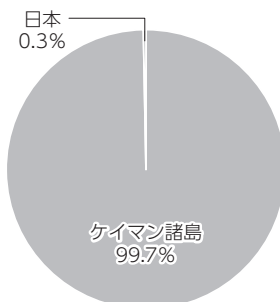
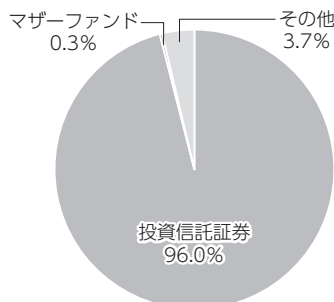
当ファンドの組入資産の内容 (2023年6月26日)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド	96.0%
マネー・オープン・マザーファンド	0.3%
コールローン等、その他	3.7%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第10期末 2023年6月26日
純資産総額	(円)	9,537,779,542
受益権総口数	(口)	4,869,032,356
1万口当たり基準価額	(円)	19,589

※当期における、追加設定元本額は763,181,896円、解約元本額は7,522,793,513円です。

組入上位ファンドの概要

ヨーロッパ・ラグジュアリー・エクイティ・ファンド(2021年7月1日から2022年6月30日まで)

エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・アセット・マネジメント(フランス)から提供されたデータに基づき作成しています。

基準価額(円建て)の推移



※分配金再投資ベース

1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細は入手できるデータがないため記載していません。

組入上位銘柄

	銘柄名	組入比率
1	LVMH モエ ヘネシー・ルイヴィトン	7.9%
2	ペルノ・リカルル	6.1%
3	エルメス・インターナショナル	5.9%
4	ロレアル	5.8%
5	モンクレール	5.4%

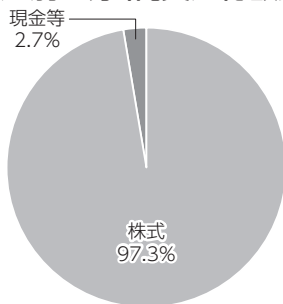
(基準日：2022年6月30日)

	銘柄名	組入比率
6	ディアジオ	4.8%
7	エシロールルックスオティカ	4.5%
8	ブルネロ・クチネリ	4.1%
9	レミー・コアントロー	3.9%
10	ロクシタン・インターナショナル	3.9%
	全銘柄数	25銘柄

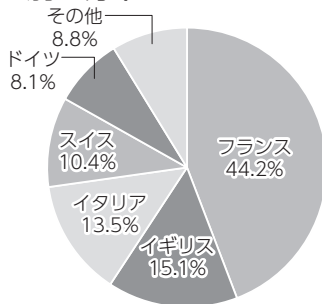
※比率は純資産総額に対する割合

※全銘柄の情報については、運用報告書(全体版)に記載しています。

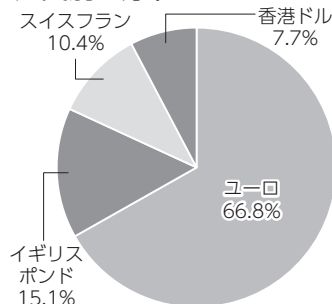
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(ポートフォリオ比)



※国別配分は原則発行国もしくは投資国を表示しています。

※基準日は2022年6月30日です。